

## 公益財団法人小山台教育財団 平成 25 年度事業報告 (平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)

公益財団法人小山台教育財団は平成 23 年 7 月 1 日に公益財団法人へ移行した。平成 25 年度は当財団創立五十周年の節目の年にあたり記念式典を挙行するとともに、「創立五十周年記念誌」と題して当財団の発足以来の道のりおよび各事業育成の歩みを取りまとめた記念誌を刊行した。また当財団の主要事業である国際交流、奨学育英、社会教育、学校教育、会館運営のそれぞれについて事業の在り方を見直し、新たな施策を含めた財団活動を推進した。その一環としてグローバル人材の育成を主眼とする新たな事業の検討・準備を担う作業部会を発足させ、将来に向けた当財団の飛躍への新たな一歩を踏み出すこととした。

### I. 国際交流事業（公益目的事業）

国際交流を通じて青少年の国際相互理解教育および異文化体験を行うとともに、真に日本を理解する能力を育てるために語学研修派遣、交換留学及び海外研修派遣助成を実施した。

#### 1. 英国語学研修派遣

英国ボーンマス市に派遣し、ホームステイをしながらキングス・カレッジで世界各国の青少年とともに語学研修を受講するプログラム。派遣時高校 1 年生はサマーバケーションエキストラコース、高校 2 年生以上はインテンシブコースの研修を受講した。大学生リーダー 1 名が随行し、現地における財団窓口としての役割を果たした。

(1) 参加者：品川区にある都立高等学校生徒及びその卒業生である大学生、  
合計 21 名。

(2) 期間：平成 25 年 8 月 4 日～8 月 25 日（22 日間）。

#### 2. 英国交換留学派遣

英国・ブリッドポート市における N P O 法人 Bridport Young Persons' Action Trust と連携して、英国に派遣と受入を隔年に行うもので、平成 25 年度は派遣の年にあたり、英国人家庭でホームステイをしながら青少年及び家族との交流をおこなった。

(1) 参加者：品川区にある都立高等学校生徒および財団関係者 1 名、合計 7 名。

(2) 期間：平成 25 年 8 月 4 日～8 月 25 日（22 日間）。

### 3. ドイツ交換留学受入

ドイツ・ベルリン市の私立カニジウスコレク・ギムナジウム校との連携により、学生の派遣と受入を原則として隔年に行うもの。平成 25 年度は受入の年に該当したが、東日本大震災で来日延期となった平成 23 年度訪日グループも併せ二期分を受入。平成 22 年度及び平成 24 年度に交換留学でドイツに派遣された生徒、学生の家庭にホームステイしながら青少年および家族との交流を行った。

(1) 参加者：二期分のカニジウス校生徒及びリーダー1名、引率者1名  
計16名。

(2) 期間：平成 25 年 7 月 13 日～8 月 2 日（21 日間）。

### 4. 台湾交換留学派遣

台湾斗六市所在の環球科技大学と連携した学生の派遣プログラム。現地受入側学生と一緒に大学における講義および体験学習を受講し、現地の歴史・文化に触れるとともに国際交流を推進した。

(1) 参加者：品川区にある都立高等学校の卒業生である大学生および財団関係者1名、合計11名。

(2) 期間：平成 26 年 3 月 9 日～16 日（8 日間）

### 5. 海外研修派遣助成

品川区にある都立高等学校の卒業生である大学生のうち財団が認めた海外研修派遣者に対して、研修参加費用の一部を助成するプログラムであるが本年度は応募がなかった。

助成応募および実施対象者：0名。

### 6. カニジウス校オーケストラ受入

ドイツ交換留学先のベルリン・カニジウス校の室内楽団総勢 33 名が平成 25 年 9 月 21 日～10 月 8 日の間来日し、東京、静岡、岐阜、奈良など各地における演奏会を実施した。当財団は 9 月 23 日小山台会館において 100 名を超える聴衆を集めた演奏会を主催、加えて楽団一同の東京滞在中のエスコートを含めた協力を行う等の日独文化交流に資する諸活動を行った。

## II. 奨学育英事業

### 1. 在品川区都立高校向け奨学育英事業(公益目的事業)

品川区にある都立高等学校に在学する就学意欲のある有為な生徒で、経済的理由で学業が困難なものに対して奨学金の給付を実施した。

(1) 一般奨学金 (30 名)

①対象：高校 2 年生以上の生徒。

②給付額：4 月から翌年 1 月まで月額 1 万 5 千円 (1 人、年間 15 万円)。

(2) 臨時奨学金 (13 名)

①対象：高校 1 年生若しくは家庭状況の急変等で緊急に援助が必要になった生徒。

②給付額：9 月から翌年 1 月まで月額 1 万 5 千円 (1 人、年間 7 万 5 千円)。

2. 都立千歳丘高校向け奨学育英事業 (相互扶助等事業)

平成 14 年度都立千歳丘高校関連財団丘和会から当財団が寄付金を受領し、それを原資として千歳丘高校生徒に対する育英奨学金として 2 名、一人当たり年間 15 万円の支給を実施していたが平成 24 年度はこれを一時中断した経緯あり。当財団内で検討した結果、当初の方針に従い都立千歳丘高校生徒向け育英奨学金を支給することを決定し同校と協議の上、平成 25 年度から新たに特別奨学金として 3 名、一人当たり年間 10 万円を支給することとした。なお、本奨学育英事業は対象を特定した給付であり相互扶助等事業として運営する。

(1) 特別奨学金

① 対象：千歳丘高校生徒 合計 3 名

② 給付額：9 月から翌年 1 月まで月額 2 万円 (1 人、年間 10 万円)

Ⅲ. 社会教育事業 (公益目的事業)

社会公共の教育及び文化の発展に寄与するため、地域住民等に対する生涯学習の推進及び文化の向上に関する事業を実施した。

1. 公開文化講座

地域住民等に対する文化講座を実施した。

(1) 募集対象 主として品川区、大田区、目黒区の住民。

(2) 開催実績：8 回。

(3) 講座内容：歴史、文化、美術、伝統芸能等をテーマとする講座およびコンサート。

2. 寺子屋小山台

企業の第一線で活躍するビジネスマンを対象として日本社会の中核を担う人材を育成するためのリーダー養成講座を実施した。

(1) 募集対象：品川区にある都立高等学校の卒業生を中心とする社会人。

(2) 開催実績：9回。

(3) 講座内容：政治・経済・国際関係等をテーマとする講義および討論。

### 3. 中学校のクラブ活動の支援

小山台高等学校が中学校の課外クラブを対象として行う技術等の向上のための講習会の開催を支援した。

(1) 受講対象：品川区、大田区、目黒区の中学校課外クラブ部員。

(2) 開催実績：8回。

(3) 活動内容：硬式・ソフトテニス技術講習会、剣道技術講習会、バスケットボール技術講習会、バドミントン技術講習会、管打楽器講習会。

### 4. 暮らしに役立つ講座

平成 25 年度に新たなシリーズとして、社会保険労務士・行政書士・税理士を講師として日々の生活に役立つテーマを取り上げて解説する講座を実施した。

(1) 募集対象：品川区にある都立高等学校生徒の父兄ならびに近隣住民。

(2) 開催実績：5回。

(3) 講座内容：年金、介護、相続等社会保険制度・手続きおよび税務に関する解説・質疑応答

## IV. 学校教育事業（相互扶助等事業）

都立小山台高等学校の教育環境の整備を図ること並びに小山台高等学校生徒の健全な心身の育成を増進するために、小山台高等学校に対して下記支援活動を実施した。なお、当年度は小山台高等学校野球班の第 86 回選抜高等学校野球大会出場に対する支援も行った。

1. 進路指導・学力向上助成
2. 学校行事・班活動関係助成
3. 学校広報関係助成

## V. 会館運営事業（相互扶助等事業）

小山台会館の会議室・ホールを財団内の打合せに加えて教育・福祉増進・文化の向上等に資する会議・会合・懇親の会場として運営した。

1. 年間利用実績：1,494 件。
2. 建物・設備の修繕

会館建物は築後 14 年経過したことを踏まえて修繕計画を策定するとともに必要な部分について建物の補修および設備更新を実施した。

(1) 長期修繕計画

会館建設建物・設備に係る総合的診断を実施し、これにもとづく長期修繕計画を策定した。

(2) 補修・設備更新

建物外装・設備に係る補修、更新6件を実施した。

VI. 創立五十周年記念事業（公益事業・相互扶助等事業共通）

当財団は昭和38年6月に設立され、平成5年以降順次国際交流事業、学校教育事業、奨学育英事業、会館運営事業、社会教育事業を立ち上げ、平成23年公益財団法人移行を経て今日の姿となった。当財団設立五十周年にあたる平成25年度に記念事業を実施した。

1. 創立五十周年記念式典

創立五十周年にあたる平成25年6月、小山台会館において当財団歴代役職員、関係者および来賓を含め95名の来場を得て創立五十周年記念式典を挙行了。

2. 創立五十周年記念誌

平成24年度～25年度にかけて当財団の設立以来の諸記録および写真類を整理し、歴代財団役職員、海外の提携先をはじめとする関係者のインタビュー・取材・寄稿をとりまとめ195ページにおよぶ創立五十周年記念誌を平成25年9月に刊行、配布した。

以上

平成 25 年度事業報告の附属明細表  
(平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月)

I. 国際交流事業

1. 英国語学研修派遣 21 名

|     | 男子 | 女子 | 合 計 |
|-----|----|----|-----|
| 高校生 | 3  | 12 | 15  |
| 大学生 | 2  | 4  | 6   |
| 合 計 | 5  | 16 | 21  |

2. 英国交換留学派遣 6 名

|     | 男子 | 女子 | 合 計 |
|-----|----|----|-----|
| 高校生 | 3  | 3  | 6   |
| 大学生 | 0  | 0  | 0   |
| 合 計 | 3  | 3  | 6   |

3. ドイツ交換留学受入 15 名

|     | 男子 | 女子 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 高校生 | 6  | 5  | 11 |
| 大学生 | 3  | 1  | 4  |
| 合 計 | 9  | 6  | 15 |

4. 台湾交換留学派遣 10 名

|     | 男子 | 女子 | 合 計 |
|-----|----|----|-----|
| 大学生 | 4  | 6  | 10  |
| 合 計 | 4  | 6  | 10  |

5. 海外研修派遣助成 0 名

|     | 男子 | 女子 | 合 計 |
|-----|----|----|-----|
| 大学生 | 0  | 0  | 0   |
| 合 計 | 0  | 0  | 0   |

## Ⅱ．奨学育英事業

### 1．一般奨学金

| 高校  | 男子 | 女子 | 合 計 |
|-----|----|----|-----|
| 小山台 | 4  | 8  | 12  |
| 大崎  | 5  | 7  | 12  |
| 八潮  | 2  | 4  | 6   |
| 合 計 | 11 | 19 | 30  |

### 2．臨時奨学金

| 高校  | 男子 | 女子 | 合 計 |
|-----|----|----|-----|
| 小山台 | 2  | 2  | 4   |
| 大崎  | 4  | 5  | 9   |
| 八潮  | 0  | 0  | 0   |
| 合 計 | 6  | 7  | 13  |

### 3．特別奨学金

| 高校  | 男子 | 女子 | 合計 |
|-----|----|----|----|
| 千歳丘 | 1  | 2  | 3  |

## Ⅲ．社会教育事業

### 1．公開文化講座(場所：小山台会館)

|   | 講師     | 内容                 | 来場者数 |
|---|--------|--------------------|------|
| 1 | 小川 恵一  | 一老科学者の見た日本の現状と未来   | 44   |
| 2 | 鈴木 伸江  | 四つの習慣で、元気で長寿を      | 38   |
| 3 | 清水 多江子 | ヨーガ体験 ①            | 31   |
| 4 | 式場 敬子  | お互いの理解が進むコミュニケーション | 27   |
| 5 | 清水 多江子 | ヨーガ体験 ②            | 20   |
| 6 | 手島 宗太郎 | 歴史散歩               | 23   |
| 7 | 高橋 民夫  | 過去の教訓に学ぶ防災         | 36   |
| 8 | 大塚 修造  | レクチャー・コンサート        | 73   |
|   | 合計     |                    | 292  |

## 2. 寺子屋小山台(場所:小山台会館)

|    | 講師    | 内容            | 参加者数 |
|----|-------|---------------|------|
| プレ | 福川伸次  | 受講生にのぞむこと     | 13   |
|    | 所 幸蔵  | 「自分が源泉」というあり方 |      |
| 1  | 大澤 佳雄 | リーダーシップ論      | 14   |
| 2  | 北野尚宏  | 国際貢献          | 17   |
| 3  | 川上高志  | 政治            | 13   |
| 4  | 奥住直明  | 経営/経済トピックス    | 13   |
| 5  | 高成田享  | 震災復興の現状       | 15   |
| 6  | 李 延江  | 中国から見た日本      | 11   |
| 7  | 方 常源  | 変革とリーダーシップ    | 15   |
| 8  | 福川伸次  | これからの日本       | 15   |
|    | 合計    |               | 126  |

## 3. 中学校クラブ活動支援

| 活動内容          | 日付     | 参加者数 |
|---------------|--------|------|
| 硬式テニス技術講習会    | 11月10日 | 荒天延期 |
|               | 11月16日 | 12名  |
|               | 11月23日 | 9名   |
| ソフトテニス技術講習会   | 2月1日   | 12名  |
| 剣道技術講習会       | 10月13日 | 30名  |
|               | 11月4日  | 29名  |
| バスケットボール技術講習会 | 10月1日  | 280名 |
| バドミントン技術講習会   | 7月21日  | 35名  |
| 管打楽器講習会       | 2月9日   | 258名 |



#### 4. 暮らしに役立つ講座（場所：小山台会館）

|   | 講座名                       | 講師                     | 参加者 |
|---|---------------------------|------------------------|-----|
| 1 | 年金の仕組みと老齢年金               | 社労士 喜多村郁子<br>社労士 松本 恵子 | 39  |
| 2 | 遺言、相続と遺族年金                | 社労士 喜多村郁子<br>社労士 松本 恵子 | 62  |
| 3 | 成年後見制度と介護保険               | 社労士 喜多村郁子<br>社労士 松本 恵子 | 43  |
| 4 | 暮らしの中の税金①～所得税編～           | 税理士 原田 文香              | 45  |
| 5 | 暮らしの中の税金②～<br>マイホーム編・相続税編 | 税理士 原田 文香              | 20  |
|   | 合計                        |                        | 209 |

#### IV. 学校教育事業

| 分類         | 事業名          |
|------------|--------------|
| 進路指導・学力向上  | キャリア教育推進     |
|            | 進路懇談会        |
|            | サテライト講習      |
|            | W e b 講習     |
|            | 小論文特別講習      |
|            | 講習教材費補助他     |
|            | 2 学年勉強合宿補助   |
|            | 大学入試過去問題集    |
|            | 理科講義実験       |
|            | 学力向上指導対策     |
| 学校行事・班活動補助 | 合唱コンクール      |
|            | 生徒会運動会       |
|            | 運動会団席設置      |
|            | 運動会医師等謝礼     |
|            | マラソン大会       |
|            | 夏季合宿コーチ経費助成  |
|            | ブラスバンド班演奏会   |
|            | スポーツトレーナー講習会 |

|          |                  |
|----------|------------------|
|          | テーピング講習会         |
|          | E S S 班活動補助      |
| 学校広報     | 学校案内パンフレット作成費    |
|          | 学校案内ポスター作成費      |
|          | 学校説明会関係消耗品費      |
|          | 学校広報活動費          |
| 全定共通管理費等 |                  |
| 定時制      | 実習教材援助費          |
|          | キャリア教室謝金         |
|          | 教科活動特別助成         |
|          | 人権教育推進           |
|          | 健康教育推進           |
|          | 授業講師費用助成         |
|          | 学校行事助成費          |
|          | 生徒褒賞費            |
|          | 班活動助成費           |
|          | スクールソーシャルワーカー招聘費 |

## V. 会館運営事業

### 会館利用状況

| 施設名        | 収容人数 | 年間利用件数 |
|------------|------|--------|
| 203 会議室    | 20   | 137    |
| 204 会議室    | 20   | 152    |
| 205 会議室    | 55   | 144    |
| 207 音楽室    | 45   | 201    |
| 301 会議室    | 8    | 118    |
| 302 会議室    | 8    | 143    |
| 303 中ホール   | 50   | 198    |
| 304 大ホール   | 130  | 257    |
| B01 談話室    | 40   | 127    |
| 10A 多目的ホール | —    | 17     |
| 総計         | 376  | 1,494  |

## VI. 創立五十周年記念事業

### 1. 創立五十周年記念式典

| 実施日              | 出席者   |    |    |
|------------------|-------|----|----|
|                  | 財団役職員 | 来賓 | 合計 |
| 平成 25 年 6 月 15 日 | 28    | 67 | 95 |

### 2. 創立五十周年記念誌

| 配布先    | 財団<br>役職員 | 寄稿者 | 歴代<br>関係者 | 関係先 | 合計  |
|--------|-----------|-----|-----------|-----|-----|
| 初期配布冊数 | 30        | 28  | 165       | 234 | 457 |

以 上